

理事長からのご挨拶

“幸せに生きたい”という願いは、長い人類の歴史のなかで誰もがずっと持ち続けてきたものです。その“幸せに生きるための力”を身に付けるため、人間は子どもたちに思いを込めて<育てる>という営みを行ってきました。

これまで人間が幸せに生きるため大事にしてきたことが3つあります。“体で覚える事”“みんなで考え議論すること”“他者と豊かに関わること”。体に文化やワザを刻み込むことで、達成感を得、文化を創り出します。みんなでいろいろ話合い、やっと生まれたアイデアや発見のなかでとても大きな感動を得ます。お互いの心が理解できて、豊かな共感の中で、人間にとっての幸せを感じられるものです。そして、何よりも子どもを真ん中に親子が共感し合い、そして、家庭がいろいろな人や地域と豊かに関わり、幸せを感じながら生きることが大事です。

人間が大事にしてきたこれらの事を、乳幼児期から保育・幼児教育のなかでいねいに身に付けていくことが、生きる力に繋がります。これこそが事業団がこれから取り組む重要なテーマとなります。

国立の子どもが幸せになってほしい、そのために事業団に何ができるか、何をすべきか。市と両輪になって、事業団の取り組みが、子育て支援の中核的な役割を果たしていくことを切に願い、“子どもの夢と未来”に向かって、みなさんと共に考え取り組んでまいります。

理事長 汐見 稔幸



★子ども一人ひとりが夢と希望を叶え、未来に向かって光輝く、次世代育成のまちづくりに貢献します

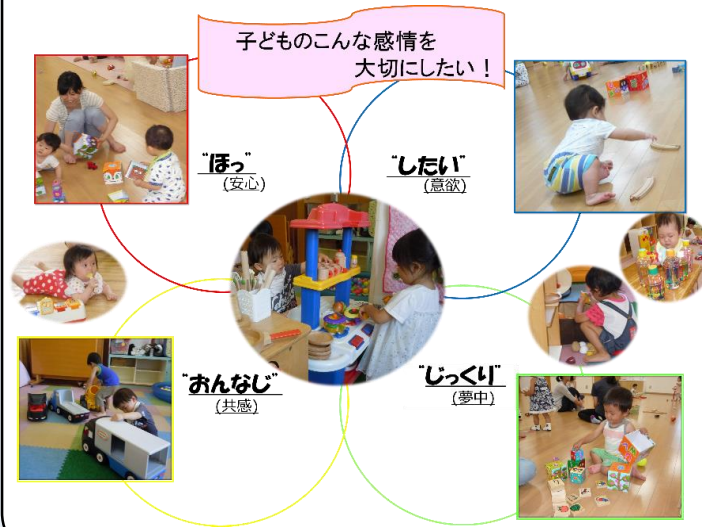
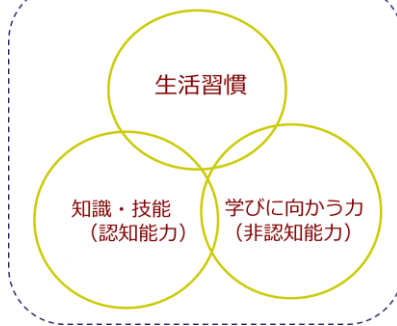
くにたち子どもの夢・未来事業団は、国立市が設立母体の社会福祉事業団として、2019（令和元）年9月2日に設立された社会福祉法人です。

当法人は、国立市が推し進めるソーシャル・インクルージョンのまちづくりの理念の下、その一環として、2021（令和3）年度からの保育園運営をはじめ、保育・幼児教育環境を積極的に向上させるべく、必要な調査・研究・実践に熱意をもって取り組んでいきます。

そして、子ども一人ひとりが夢と希望を叶え、未来に向かって光り輝き、自立した生活を営むことができるよう、次世代育成のまちづくりに貢献し、「子どもの最善の利益」が実現される社会を目指してまいります。

大切にしたい 保育・幼児教育の在り方イメージ ～国立市幼児教育推進プロジェクト事業の取組～

乳幼児期に身につけてほしい力



発行
社会福祉法人 くにたち子どもの夢・未来事業団

URL <http://www.kunitachi-j.or.jp>

〒186-0003
国立市富士見台2-47-1 国立市役所内
Tel 042-576-2111（内線205）



社会福祉法人

くにたち子どもの 夢・未来事業団

★ご案内★

くにたち子どもの夢・未来事業団は、次世代育成のまちづくりに貢献し、「子どもの最善の利益」が実現される社会を目指してまいります。



社会福祉法人
くにたち子どもの夢・未来事業団



★令和元年9月2日に社会福祉法人くにたち子どもの夢・未来事業団は設立されました

★くにたち子どもの夢・未来事業団の取り組み

1. まちぐるみの保育・幼児教育の醸成と環境の整備

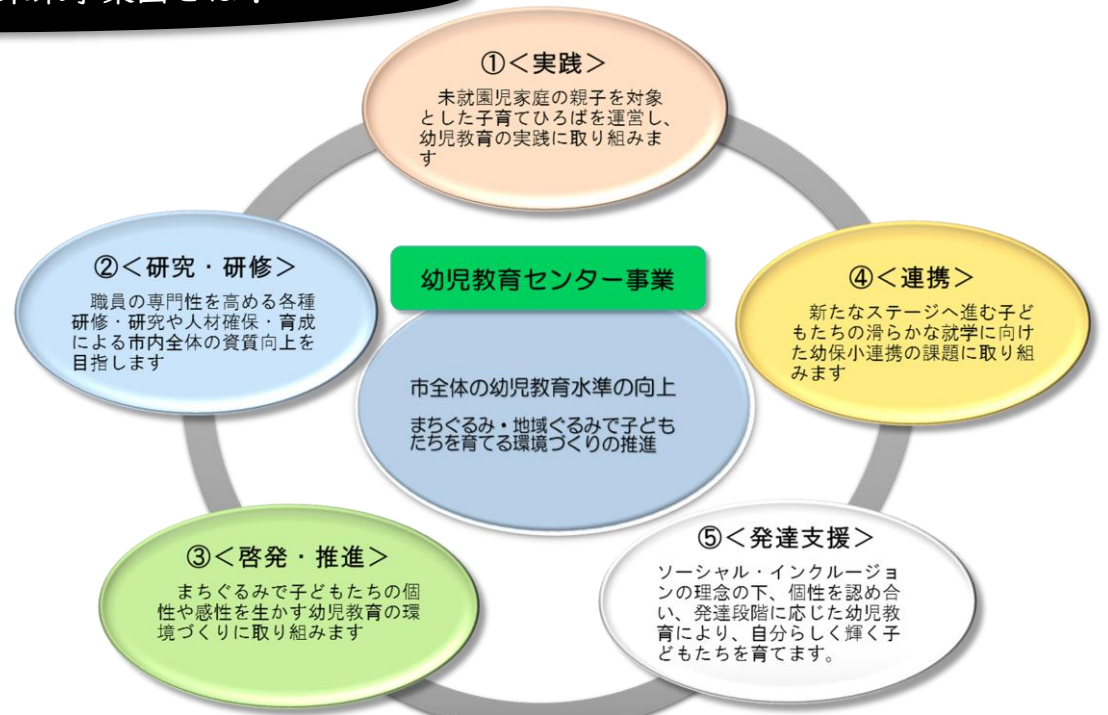
国立市は、平成30年度より開始した国立市幼児教育推進プロジェクト事業「ここすき」を土台として、子ども一人一人の成長・発達段階に応じた幼児教育を推進する中核的な役割を果たす拠点「(仮称)国立市幼児教育センター」を令和4年度に矢川複合公共施設内に開設する予定です。事業団は、これらの取り組みを市と共に進めます。



矢川複合公共施設外観イメージ（基本設計段階）

3. 時代の変化に応える子育て施設の運営

矢川複合公共施設内の子育てひろば(子ども家庭支援センター)の運営に国立市と共に携わり、子育て支援の取り組みを進めます。



(仮称) 国立市幼児教育センター事業（案）

2. 保育・幼児教育環境の変化に応える保育園の運営

現在の公立矢川保育園を新たに事業団が運営します。

令和2年度に矢川保育園新園舎を建設し、令和3年度より新園舎による保育を開始します。



矢川保育園新園舎外観イメージ（実施設計段階）